

広島大学体育会アメリカンフットボール部 **Raccoons**  
安全対策および運営・指導体制について

1. はじめに

近年、アメリカンフットボールにおける脳震盪や熱中症、頸髄損傷などの予防と対策が問題となっています。また、部活動における体罰等の指導に関する問題も議論されています。今回、我々広島大学アメリカンフットボール部 **Raccoons** として取り組んでいる安全対策、運営・指導体制について改めて紹介します。

2. 安全対策

■メディカルスタッフ（ドクター、トレーナー）

・2004年より、東広島整形外科クリニックと連携させていただき、選手が怪我をしてから練習に復帰するまでをサポートしていただいております。クリニックのスタッフの中には、トレーナーとして定期的にグラウンドに足を運んでいただいている方もおり、選手のケアおよびマネージャーの指導をして頂いています。

・チームドクターとして、石井良昌先生（広島市立リハビリテーション病院）、牛尾会先生（広島大学病院リハビリテーション科）に毎春のメディカルチェック、試合のゲームドクターとして主にサポートを行っていただいております。その中で、頭頸部疾患、循環器疾患などのスポーツ活動が困難な選手がいた場合には、本人やスタッフと相談した上で選手からスタッフへの変更を促すことがあります。

・チームトレーナーとして、広島大学大学院スポーツリハビリテーション学研究室から大学院生の方にもサポートして頂いています。東広島整形外科クリニックのトレーナーの方同様、直接グラウンドに足を運んで頂き、選手のケア、マネージャーの指導をして頂いています。

・試合は、必ず1名以上のゲームドクターがいる環境で行われています。さらに **Raccoons** では、トレーナーの方にも来て頂き、選手の安全面への配慮および事故等の発生時には迅速な対応ができるよう準備しています。

■安全講習会への参加

・年に1回オフシーズンに、中四国学生アメリカンフットボール連盟主催による、安全講習会に、選手・マネージャーの部員全員が参加しています。主に、知っておくべき救急対応や医学知識、テーピング法など講義や実技があり、各項目に関する最終試験が課せられています。弊部部員は全員が試験に合格しています。

■メディカルチェックおよびメディカルミーティング

・マネージャーにより、毎練習後にメディカルチェックを行っています。練習中の外傷だけでなく、顔色や普段の様子の変化などをチェックし、トレーナーに相談して、休養をとらせることや、必要であれば、病院受診するよう促しています。

・また、毎春にはチームドクターにもメディカルチェックに参加して頂き、各選手の問題と対応に関して、本人のみならずスタッフ、マネージャーへの指導をして頂いています。

・試合前には必ずメディカルスタッフ、マネージャー、コーチでメディカルミーティングを行っています。このミーティングで選手の状態を共有し、出場不可と判断された選手については、チームとして直前に再チェックを行い、連盟に試合不参加である旨を申告します。

#### ■ 専門医療機関の推奨

・選手には、サポートして頂いている東広島整形外科クリニックのみならず、必要であれば他の専門医療機関への受診を勧めています。特に入院の必要等がある場合には、実家の近くでの受診も推奨しています。

#### ■ 正しい技術・フォーム、フットボーラーとしての十分な体力の強化（特に新入生）

・頭部、頸部損傷を防ぐために、ヘッドアップを中心とした正しい技術・フォームの指導を徹底しています。そのため、オフシーズンや新入生の入部直後は基礎練習を重点的に行っています。また、相手とのコンタクトに耐えうる体力の強化として、グラウンドでのトレーニングだけでなく、ウェイトトレーニングも行っています。

### 3. 運営・指導体制

#### ■ 学生主体の活動

・広島大学体育会アメリカンフットボール部の文化として、学生主体の活動が挙げられます。学生達が自ら考え、行動することが文化として根付いています。とはいえ、まだまだ未熟な学生達ですので、以下のスタッフを中心に学生たちを指導、サポートしています。また、同窓会、後援会からも多大なサポートを受けており、OB・OGだけでなく、地域からも愛されるようなチームを目指し、活動しています。

#### ■ 部長・監督

- ・部長 蔦岡孝則（広島大学教育学研究科 教授）
- ・監督 見島泰司（広島大学附属福山中・高等学校 教員、1995年度 OB）

#### ■ コーチングスタッフ（社会人コーチ、学生コーチ）

・社会人コーチとして、弊部 OB だけでなく他大学 OB にも指導して頂いています。2018年度は6名が在籍しています。

・学生コーチとして、弊部 OB の大学院生、在校生が指導しています。2018年度は7名が在籍しています。

#### ■ メディカルスタッフ

- ・東広島整形外科クリニック
- ・石井良昌先生（チームドクター）
- ・広島大学大学院医歯薬保健学研究所スポーツリハビリテーション学研究室 大学院生

#### ■ 同窓会 オールド・ラクーンズ

- ・広島大学体育会アメリカンフットボール部を卒業した OB・OG により構成されていま

す。OB・OGの皆様には、毎年の同窓会費によりチームの運営経費の支援をして頂くとともに、練習の補助、試合観戦、新入生に試合経験を提供するためのフレッシュマンボウル（OB戦）の開催、Raccoons総会や各種祝賀会の開催などにもご参加頂き、様々な面でのサポートをして頂いています。

#### ■後援会

・東広島市内の企業を中心に、構成されています。運営経費の支援をして頂くだけでなく、地域清掃やボランティアなどの地域と関わることの出来るイベントを紹介して頂いています。他にも試合観戦ツアーの計画・参加や、アルバイトの斡旋など、様々な面でのサポートをして頂いています。

#### 4. 最後に

日頃、弊部をご支援頂き、有難うございます。先頃、アメリカンフットボール界での問題がメディアでも多く取り上げられ、特に保護者の皆様にはご心配おかけしていることと思います。今回の問題をきっかけに、改めて我々も安全対策および運営・指導体制を見直す必要があると考え、今回このように公表させて頂く運びとなりました。

我々指導者は、ただアメリカンフットボールを指導するだけでなく、アメリカンフットボールを通して学生達に何を伝えるべきなのか、どうすれば学生達の力になれるのかを考え、日々試行錯誤しています。アメリカンフットボールは激しい競技であることは間違いありません。しかし、防ぐことのできる事故や怪我は、必ず防がねばなりません。そのために、安全対策や組織としての充実を図るだけでなく、Raccoonsに関わる全員が今一度Raccoonsとしてあるべき姿を見つめ直し、本当の意味でチーム一丸となって精進して参ります。そして何より人間として正しい道を進み、誰からも尊敬されるような人格を形成する、そんなチームを目指していきます。

最後になりましたが、いつも多大なるご支援、ご声援を頂き、本当に有難うございます。この恩は、学生達、そしてチームが大きく成長した姿を見せることでお返しさせて頂けるのではないかと考えています。もしお時間が許せば、直接試合会場に足を運んで頂き、日々成長する学生達、そしてチームの姿を見て頂ければ、こんなに嬉しいことはありません。また、皆様からのご意見や、ご質問等がありましたら、遠慮なく下記連絡先よりご連絡下さい。宜しく願い致します。

#### ○連絡先

- ・（監督）見島泰司 mirushi@hiroshima-u.ac.jp
- ・（コーチ代表）福田倫大 fukuda@hiroshima-u.ac.jp

広島大学アメリカンフットボール部 部長 蔦岡 孝則  
監督 見島 泰司